**火薬庫工事設計明細書（移動式２級火薬庫）**

１　火薬庫の位置及び付近の状況は別図による。

２　保安物件との距離

　(1) 最大貯蔵量（規則第20条第2項の規定を計算式で明示すること。）

　　　　　（　　　）　　（　　　）　　（　　　）

　　爆薬庫　　　　　＋　　　　　　＋　　　　　　＋　　　　　　　≒（　　　）≦１

　　　　　　１０　　　　　２０

　　　　　 （　 　　）　　（　　　）

　　火工品庫　　　　　 ＋　　　　　　＋　　　　　　　　　　　　　≒（　　　）≦１

　　　　 　　10,000,000

 (2)　爆薬換算による貯蔵量（規則第１条の６の規定を計算式で明示すること。）

　　　　　（　　　）　　（　　　）　　（　　　）

　　爆薬庫　　　　　＋　　　　　　＋　　　　　　＋　　　　　　　　＝（　　　トン）

　　　　　　　１　　　　　　２

　　　　　 （　 　　）　　（　　　）

　　火工品庫　　　　　 ＋　　　　　　＋　　　　　　　　　　　　　　＝（　　　トン）

　　　　 　 1,000,000

 (3)　爆薬庫又は火工品庫から保安物件までの保安距離は下記の事項及び付近の状況図による。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 保安物件の種類（法定距離） | 爆薬庫 | 保安物件の種類（法定距離） | 火工品庫 |
| 保安物件名 | 方角及び距離 | 保安物件名 | 方角及び距離 |
| 第１種（　　　　　m） |  |  | 第１種（　　　　　m） |  |  |
| 第２種（　　　　　m） |  |  | 第２種（　　　　　m） |  |  |
| 第３種（　　　　　m） |  |  | 第３種（　　　　　m） |  |  |
| 第４種（　　　　　m） |  |  | 第４種（　　　　　m） |  |  |

（注）保安物件が当該事業用施設である場合は当該保安物件にその旨併記すること。

３　火薬庫の構造及び設備

　(1)　火薬庫、防火設備及び警戒設備並びに警鳴装置等の全体設置計画は火薬庫施設設置図による。

　(2)　火薬庫相互間距離

　　　爆薬庫（　　　トン＝　　　m）・火工品庫（　　　トン＝　　　m）

　(3)　火薬庫の構造等は下記の事項並びに正面図、平面図、側面図、断面図、基礎図、小屋組図、建具図、その他建築構造各部の名称説明図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　　　　目 | 爆　　　　薬　　　　　庫 | 火　　　工　　　品　　　庫 |
| 軽量型鋼系プレハブの形式 | 　ﾌﾚｰﾑ　耐力ﾊﾟﾈﾙ　ﾊﾟﾈﾙ・壁　　形・ﾎﾞｯｸｽ形 | 　ﾌﾚｰﾑ　耐力ﾊﾟﾈﾙ　ﾊﾟﾈﾙ・壁　　形・ﾎﾞｯｸｽ形 |
| 基礎 | 周囲の布基礎 | 構造 | （鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ･無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ） | （鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ･無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ） |
| アンカーボルト | （　　　　箇所・直径　　　　㎜） | （　　　　箇所・直径　　　　㎜） |
| 通気孔 | 金網張り | 金網張り |
| 直径　　間隔　　　パンチング鉄棒(　m/m・　m/m)・メタル方式 | 直径　　間隔　　　パンチング鉄棒(　m/m・　m/m)・メタル方式 |
| 内部のつか石 | 別図のとおり |  |
| 骨組 | 土台のアンカーボルト | （直径　　　　㎜・　　　　個） | （直径　　　　㎜・　　　　個） |
| 柱、梁桁、合掌もや等 | 軽量型鋼とし、外部にﾎﾞﾙﾄ､ﾅｯﾄ類を表さないよう施工する。 | 軽量型鋼とし、外部にﾎﾞﾙﾄ､ﾅｯﾄ類を表さないよう施工する。 |
| 床の板張り | 厚さ（　　　㎜）、鉄部を表さない | 厚さ（　　　㎜）、鉄部を表さない |
| 外壁（妻壁共） | 外部 | 構造 | （鉄板張り・耐力パネル・　　　） | （鉄板張り・耐力パネル・　　　） |
| 厚さ | （　　　　　　㎜） | （　　　　　　㎜） |
| 固定方法 | （溶接・ボルト締め・　　　　　） | （溶接・ボルト締め・　　　　　） |
| 内部 | 構造 | （耐水ベニヤ板張り・　　　　　） | （耐水ベニヤ板張り・　　　　　） |
| 厚さ | （　　　　　　㎜） | （　　　　　　㎜） |
| 固定方法 | （釘打・接着剤・　　　　　　　） | （釘打・接着剤・　　　　　　　） |
| 内外部の空間 | 断熱材（　　　　　　　　　　　） | 断熱材（　　　　　　　　　　　） |
| 換気孔 | 　　　　　　　　　　　ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞ（　箇所）・ 金網張り・ﾒﾀﾙ方法 | 　　　　　　　　　　　 ﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞ（　箇所）・　金網張り・ﾒﾀﾙ方法 |
| 内　　　　　　壁 | ベニヤ板張り | ベニヤ板張り |
| 屋根 | 外部 | 構造 | （鉄板張り・平スレート葺） | （鉄板張り・平スレート葺） |
| 厚さ | （　　　　㎜・井　　　　） | （　　　　㎜・井　　　　） |
| 取付方法 | （釘打・溶接・　　　　　） | （釘打・溶接・　　　　　） |
| 内部 | 耐水ベニヤ板張り、厚さ（　　㎜） | 耐水ベニヤ板張り、厚さ（　　㎜） |
| 屋根パネル | （耐水ベニヤ板張り･耐力パネル） | （耐水ベニヤ板張り･耐力パネル） |
| 小屋組 | たる木、野地板等は木製とする。 | たる木、野地板等は木製とする。 |
| 盗難防止 | 取付場所 | （屋根裏･天井裏） | （屋根裏･天井裏） |
| 金網 | （太さ　　番線、網目　　　㎜） | （太さ　　番線、網目　　　㎜） |
| 固定方法 | ステープル止め | ステープル止め |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 天井 | 材料 | ベニヤ板張り | ベニヤ板張り |
| 換気孔 | （　　　　　箇所）・金網張り | （　　　　　箇所）・金網張り |
| 出入口の枠の固定方法 |  |  |
| 外壁（耐火扉） | 本体 | 構造 | 片開・鉄板張り（厚さ　　　㎜） | 片開・鉄板張り（厚さ　　　㎜） |
| 寸法 | （高　㎜×巾　　㎜×厚　　㎜） | （高　㎜×巾　　㎜×厚　　㎜） |
| 枠の覆い | ３周共（　　　　　㎜） | ３周共（　　　　　㎜） |
| 角蝶番 | 長さ、数 | （　　　　㎜）・（　　　　箇所） | （　　　　㎜）・（　　　　箇所） |
| 取付方法 | （電気溶接・　　　　　　　　） | （電気溶接・　　　　　　　　） |
| 錠 | 種類 | （シリンダー本締錠・　　　　） | （シリンダー本締錠・　　　　） |
| 取付数 | 鍵ちがいの錠、（　　　　　箇所） | 鍵ちがいの錠、（　　　　　箇所） |
| ロッド棒 |  |  |
| 内　　　　扉　　 | 構造 | １　本　引、木製板戸 | １　本　引、木製板戸 |
| 寸法 | （高　㎜×巾　　㎜×厚　　㎜） | （高　㎜×巾　　㎜×厚　　㎜） |
| レール、戸車、引手の使用材料 |  |  |
| 錠 | 　シリンダー本締　引戸用鎌錠・ | 　シリンダー本締　引戸用鎌錠・ |

　(4)　警鳴装置の構造等は下記の事項並びに電気配線図、仕様書及び設置図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　　　　目 | 警鳴を発する装置 | 警報を発する装置 |
| メーカー及び型式 |  |  |
| 設置場所 | （火薬庫の外壁・付近（　　　）） | （自宅･守衛室･代理人･その他） |
| 本体 | 外函 | 鉄板製、厚さ（　　　　　㎜　） | 鉄板製、厚さ（　　　　　㎜　） |
| 錠の種類 |  |  |
| 開防口護部措の置 | 雨、雪の侵入 |  |  |
| 虫等の侵入 |  |  |
| 回路への外部接触 |  |  |
| 警報部への外部接触 |  |  |
| 警報器 | 種類 | （ｻｲﾚﾝ､ﾌﾞｻﾞｰ、ｽﾋﾟｰｶ､ﾍﾞﾙ） | （ｻｲﾚﾝ､ﾌﾞｻﾞｰ、ｽﾋﾟｰｶ､ﾍﾞﾙ） |
| 警報等の始動、音量 | 扉（開放･振動）、（　　　ホーン） | 扉（開放･振動）、（　　　ホーン） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 回路 | 庫内電流 | 爆薬庫（　　　　　アンペア）火工品庫（　　　ミリアンペア） |  |
| 切断対策 | （警鳴を発する・金属管の保護） | （警報を発する・金属管の保護） |
| 保安装置 | 避雷器、ヒューズ（　　ﾐﾘｱﾝﾍﾟｱ） | 避雷器、ヒューズ（　　　　ｱﾝﾍﾟｱ） |
| テスト装置 | スイッチ式 | スイッチ式 |
| 電源 | 電池（電圧の消耗状況） | （メーター・表示灯） | （メーター・表示灯） |
| 交流（停電時の措置） | 予備電池に自動切換え | 予備電池に自動切換え |

1. 防火設備及び警戒設備は下記の事項並びに施設設置図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　　　目 | 爆　　　　薬　　　　庫 | 火工品庫 |
| 防設火備 | 防火用空地 | 巾（　　　　ｍ） | 巾（　　　　ｍ） |
| 貯水槽 | （　　　　トン×　　　　槽） | （　　　　トン×　　　　槽） |
| 警設戒備 | 警戒札の種類 |  |  |
| 夜間点燈装置 | 有（施工図及び設置図による）・無 | 有（施工図及び設置図による）・無 |

４　貯蔵上の取扱い

　(1)　最高最低寒暖計を爆薬庫内に設置する。

　(2)　火薬類の積載は下記の事項及び別図による。

　　　火薬類の最大積載量（外装の寸法による計算式を明示すること。）

　　　爆薬庫

　　　火工品庫

1. その他の取扱いは火薬類取締法施行規則第２１条の規定による。

５　年間貯蔵予定量

　　爆薬庫（　　　トン）＋火工品庫(　　　トン)＝（　　　　トン）